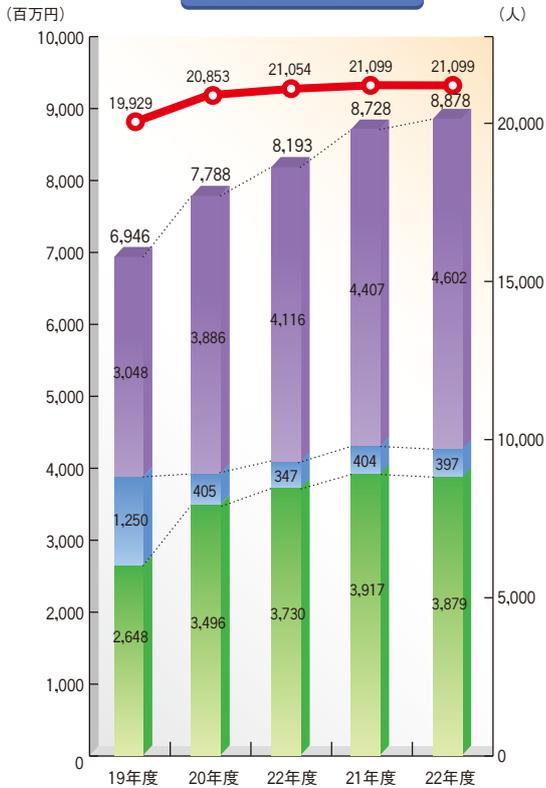


下野市

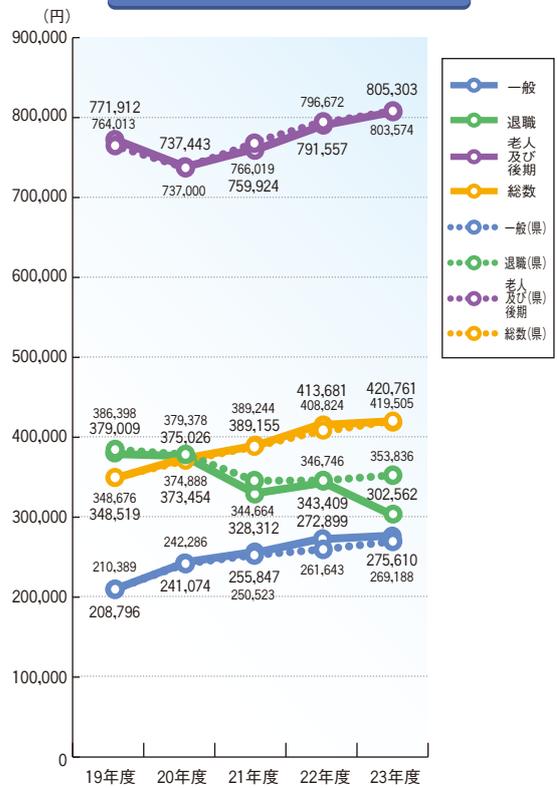
下野市



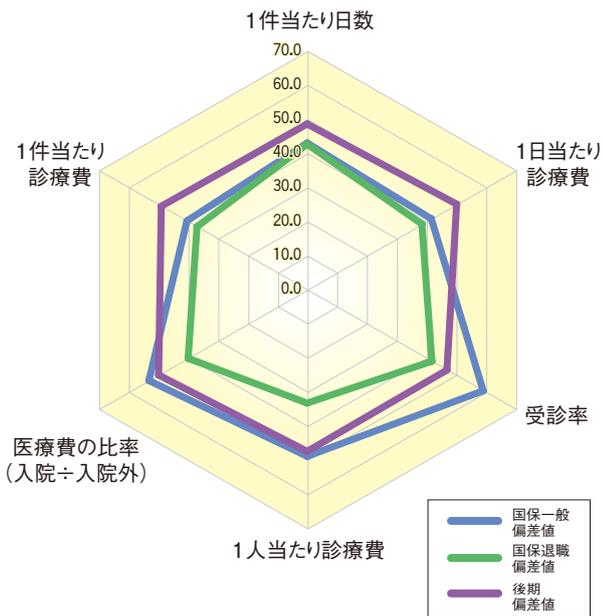
医療費の推移



1人当たり医療費の推移

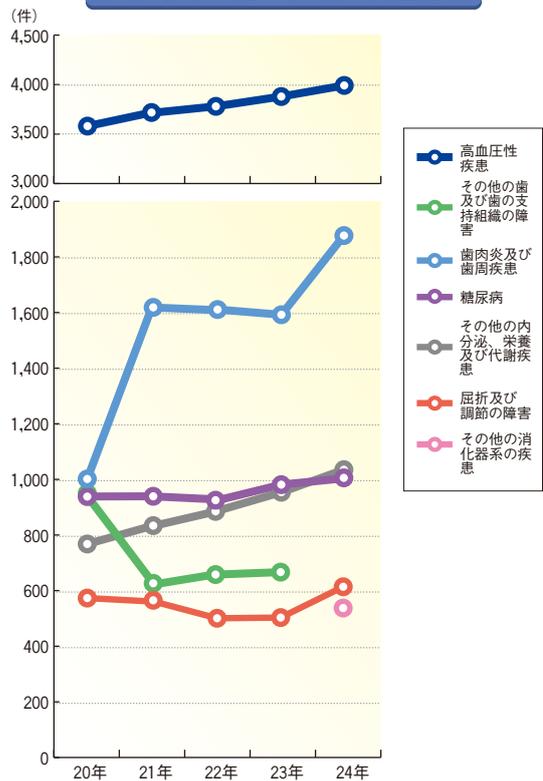


平成23年度 3要素と医療費諸費 (県平均との比較)



レーダーチャートでは、全ての軸のスケールは偏差値として統一されています。栃木県(平均)が50となるため、値が50の頂点を結ぶ正六角形が栃木県のレーダーチャートになり、当該地域の傾向が正六角形のずれ具合として把握できます。

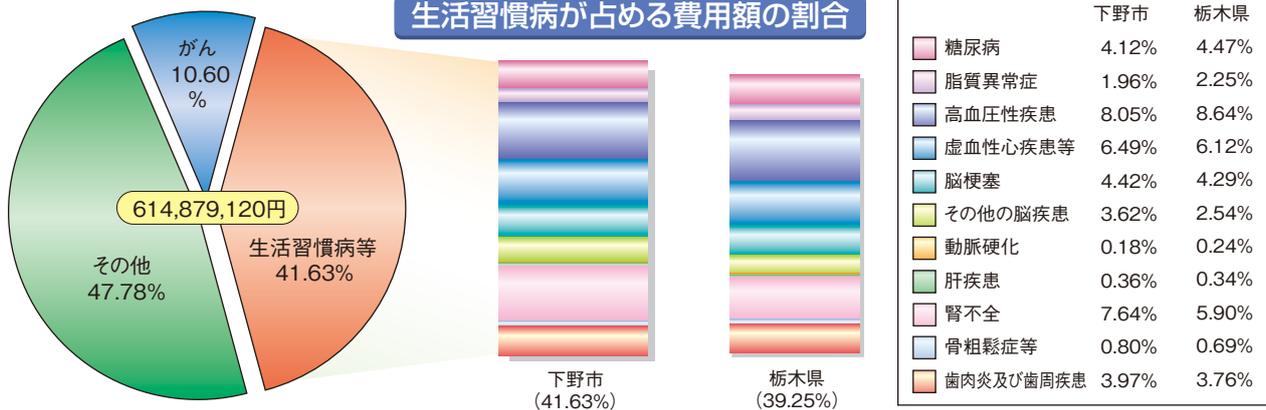
多受診疾病上位6位の推移



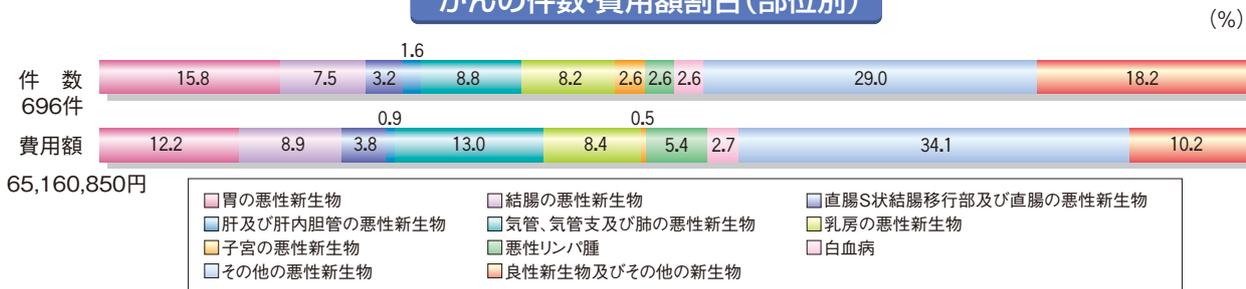
生活習慣病5年間の件数の推移(構成比)



生活習慣病が占める費用額の割合



がんの件数・費用額割合(部位別)



下野市の状況

★医療費の状況及び被保険者数

平成23年度の医療費(療養諸費)の推移をみると、一般3,878,666千円(99.0%)、退職396,658千円(98.1%)、後期4,602,304千円(104.4%)で、全体では8,877,629千円(101.7%)と増加している。()は前年度との比較。

平成23年度平均被保険者数は21,099人で、内訳は一般14,073人、退職1,311人、後期5,715人である。前年度と比較すると全体で100.0%と変化はない。

また、平成23年度の1人当たり医療費の推移をみると、総数は420,761円(7,080円増)、一般は275,610円(2,711円増)、退職は302,562円(40,847円減)、後期は805,303円(13,746円増)である。()は前年度との比較。

3要素(受診率、1件当たり日数、1日当たり診療費)と医療諸費の県平均との比較をみると、退職はいずれも県平均より下回る低い偏差値となっている。

★疾病の状況

平成24年5月診療分において件数が多い(多受診)疾病は、1位高血圧性疾患、2位歯肉炎及び歯周疾患、3位その他の内分泌、栄養及び代謝疾患、4位糖尿病、5位屈折及び調節の障害、6位その他の消化器系の疾患で、中でも6位のその他の消化器系の疾患は年々増加傾向にあり、平成20年と比べると件数、費用額共に1.4倍になっている。

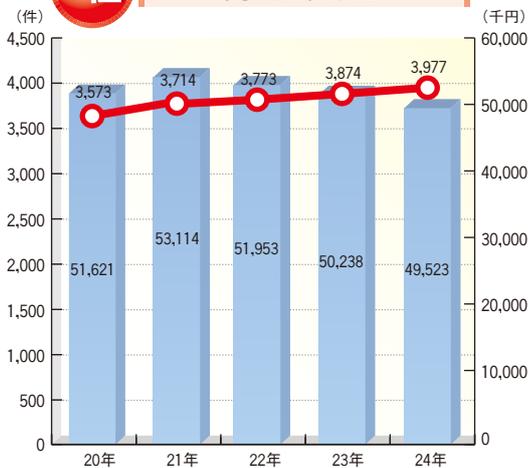
また、5大生活習慣病(糖尿病・脳卒中・虚血性心疾患・脂質異常症・高血圧性疾患)の件数の推移(構成比)をみると、脂質異常症は年々増加傾向にある。

生活習慣病が占める費用額の割合では、平成24年5月診療分の総費用額が614,879,120円で、がんが10.60%、生活習慣病関連が41.63%を占めている(県全体 がん11.84%、生活習慣病関連39.25%)。費用額の占める割合が高い疾病は、高血圧性疾患8.05%、腎不全7.64%、虚血性心疾患等6.49%となっている。

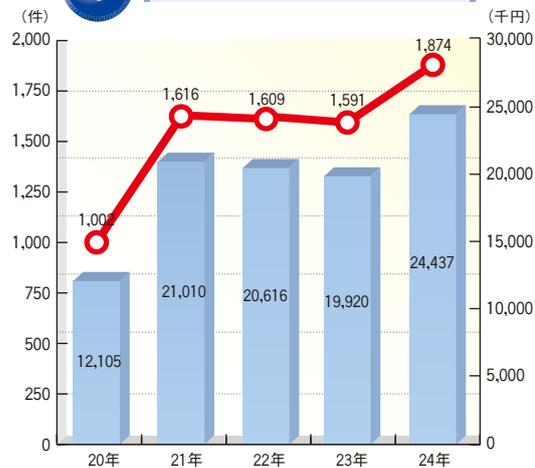
がんの部位別の件数及び費用額の割合では、その他の悪性新生物、良性新生物及びその他の新生物に分類されるものを除き、件数では、胃の悪性新生物、費用額では、気管、気管支及び肺の悪性新生物が高い割合となっている。

多受診疾病 上位6の年次推移

1位 高血圧性疾患



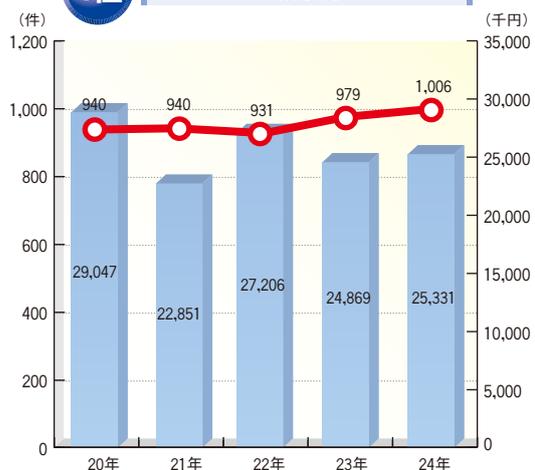
2位 歯肉炎及び歯周疾患



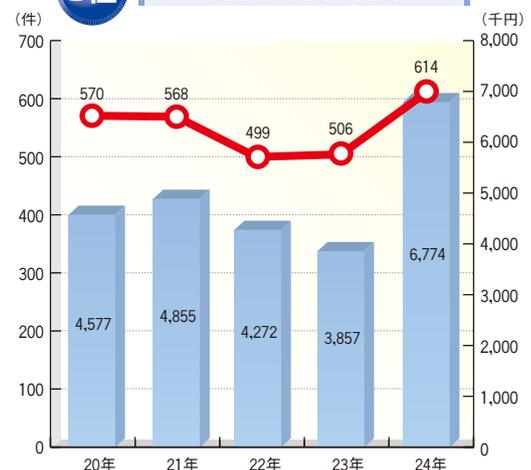
3位 その他の内分泌、栄養及び代謝疾患



4位 糖尿病



5位 屈折及び調節の障害



6位 その他の消化器系の疾患

